

# 県大会で優勝

## 中学生新人戦

### 松尾柔道クラブ

一月の寒い夜、ミニ体育館は元気の音が響き渡っています。松尾柔道クラブは、小学生、中学生、一般で四十名と多くの部員で週二回松尾支所隣の体育館で行っています。指導員も九名と活気あるクラブで、挨拶などの礼儀も、自然に身に付いています。

## クラブ・教室だより

中学生の新人戦、県大会優勝、小学生が上位の成績を収めるなどから、子供達もやる気が出て、休む子が少ないです。受験前の中学生も、柔道により集中力が付き、ストレス解消になると練習しておりました。

とても寒い日でしたが、ストロブも消してしまいう程に、それぞれが個人目標を掲げ、稽古に励んでおりました。



## 平成20年度 育成会だより 挨拶標語

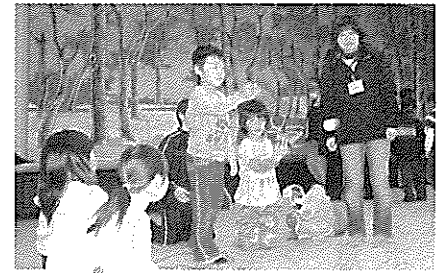
- おおきなこえ にこにこえがお いきます 1年1組 みやざきふうが
- あいさつを みんなにすると ハッピーだ!! 1年2組 すきがらゆめこ
- あいさつで きょうもにこにこ ともだちづくり 1年3組 木下裕斗
- ありがとう すなおなきもち つたえよう 1年4組 はやま だいち
- 「おはよう」と ちくのおじさん うれしそう 2年1組 おかにわりんか
- あいさつで みんなのえがおを ひき出そう! 2年2組 吉川海夕
- 自分から はずかしがらず あいさつを 2年3組 友やす なおき
- もくひょうは 30人に あいさつだ 2年4組 ゆざわ こうき
- 楽しいな あいさつすると 心が躍る 2年5組 山崎裕翔
- 目を合わせ 心通わす あいさつを 3年1組 宮内理名
- あいさつは せかいのひとの あいことば 3年2組 くるみざわ友菜
- あいさつで 地いきのなかよし 広げよう 3年3組 米澤和真
- あいさつで せかいが広がる うれしいね 3年4組 ごとう さくら
- あいさつで 心キラキラ かがやくよ 4年1組 ふくよ はるか
- おはようと 言われて言って いい気分 4年2組 米山かな
- あいさつは 友達作る きっかけさ 4年3組 井原佳子
- あいさつで 地球みんなと リンクする 4年4組 近藤悠哉
- あいさつで かがやけぼくらの松尾地区 5年1組 村沢直哉
- ただいまと その一言で 家族の輪 5年2組 瀧川萌梨
- あいさつで 朝のねむけを ふきとばそう 5年3組 金子廉
- おはようと ひとつだけでも ころろははずむ! 5年4組 小木曾未奈美
- あいさつで みんなの心 花ひらく 5年5組 林明日香
- あいさつは いつも楽しく 元気よく 6年1組 坂本杏奈
- あいさつは 人と人との マナーだよ 6年2組 小木曾里紗
- あいさつは みんなでしよう 何度でも 6年3組 小澤実紅
- 勇気だし 言ってみようよ 笑顔でね 6年4組 杉山優莉
- あいさつを 言われる前に 自分から 6年5組 大倉怜

# 松尾育成会便り

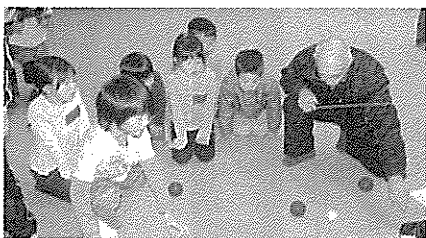
## ペタンクでもぞぼう

平成20年度  
第20号  
松尾青少年健全育成会  
広報部

十月二十一日、松尾公民館にて、高齢者双葉会の皆さんの指導により「ペタンクであそぼう」が開催されました。当日は大人子供合わせて四十人程が参加し、まずは会の方より、ゲームの説明を受けました。やり方は簡単、まず二チームに分かれます。この日は一チーム八人で行ないました。黄色い球を球投げ、それぞれ赤、青一球ずつ投げ、黄色い球に遠いチームが投げ続けます。途中で相手チームの球に当たって投げる順番が入れ替わること、投げ終わった後、黄色い球により近



いチームが勝ち、そして黄色い球を中心に相手チームの一番近い球でぐるっと円を書いた中にいくつ勝ちチームの球があるかで点数が決まります。最後の一球を投げ終わるまで、勝敗がわからないところがとても面白く、「一球投げるたびに」「おーすごい、ああ惜しい」と、歓声が上がりました。慣れて来ると、床の傾斜具合をみて、球にカーブをかけたり、転がり過ぎないように、上に投げてみたりと、子どもたちはいろいろ工夫して投げていました。時間の許す限り何回も対戦し、楽しい時間を過ごしました。



## 楽しかったペタンク

平栗美樹

おじいさん、おばあさんといっしょに、ペタンクをやりました。ペタンクはあまりやったことがなかったけれども、おじいさんやおばあさんが、「もう少し強く。」などと、ていねいに教えてくれました。

## 肝心な要な要

松尾警察官駐在所 宮島 勝



「もう少し強く。」など、ていねいに教えてくれました。調査から導かれた肝心な要な要は次の二点だと言われております。まず一点は、親が子どもを愛している場合、子ども自身自身に對しての評価は肯定的となり、そういう子どもは非行に走らないという調査結果です。

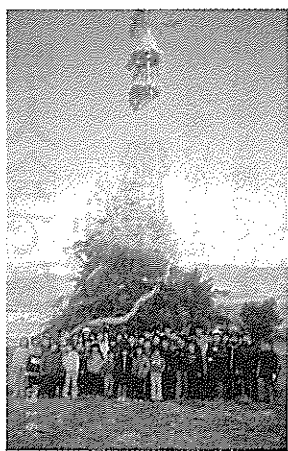
したがって、子どもを非行や問題行動等から守る鍵は「子どもを愛すること」ということになります。しかし、これだけでは不十分であり、いくら子どもを愛していたとしても、子どもから愛されていなくてはならないということです。

た。なので、上手にやる事が出来来ました。ペタンクをやっている、友達も出てきました。ペタンクは、わたし達のチームが勝ちました。ペタンクはすごく楽しいので、またやってみたいと思いました。おじいさん、おばあさんと出来て、よかったです。

松尾警察官駐在所 宮島 勝

何故なら、非行少年の親の多くは、一方的に子どもを愛して、逆に子どもから嫌われ軽蔑されているからです。そういう親は往々として「私の言うことをちゃんと聞いてくれない」と嘆いているのです。したがって、親は子どもから愛されていなくてはならないのです。

子どもを愛して鍵をすること。そして子どもに愛されて鍵をすること。この二点を言い換えると、子どもを愛する親になること。そして子どもに愛される親になることが肝心な要な要になります。私自身、十七歳と三歳の子を持つ親として、鍵に関しては、この二点を肝に銘じていきたいと思っております。



**上溝地区のおんべ**  
 上溝地区では、1月7日の早朝おんべに六年生が点火。天高く炎が舞い上がりいよいよおんべが始まりました。12月に竹取を行い、年明けに飾り付けた花笠を中心部に建てる長い竹に取り付けました。前日の6日、地域の玄関先においてある松飾りをみんなで集め持ち寄った後、おんべの組み立てです。花笠のついた長い中心の竹を囲むように、門松やしめ縄だるま、熊手など正月の縁起物や書き初めで次々と飾られてゆきます。完成したおんべは約15メートルの巨大で立派な物になりました。点火後は、竹の大きな破裂する音に子供達はびくびくして大興奮。おき火が出来るとお待ちかねの餅焼きです。参加した人達はこぞって餅を焼き、その場で食べたり家へ持ち帰ったりと、寒い中ではありましたが無事今年のおんべも終了しました。

き、ゴム風船のサッカーボール作りを楽しむことができ、ありがたかったです。また、松ぼっくりの池の管理にも心を配りました。あいさつ標語の看板移動や小学生全員からあいさつ標語を募集し、あいさつの啓発にも取り組みました。広報活動も、具体的な子どもたちの元気な姿をより多く紹介するよう努めて参りました。子どもたちの健やかな育ちを願う二十年度育成会活動へのご支援、どうもありがとうございました。



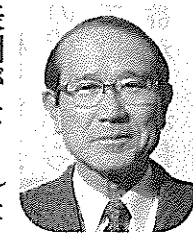
**おもしろ科学教室**  
 去る二月七日の土曜日、松尾地区文化祭行事の一つで、子供達を対象にした「おもしろ科学教室」が公民館横のミニ体育館で行われました。内容は、おもしろ科学工房の三浦さんの指導のもと、「ゴム風船のサッカーボール作り」と「空気砲」です。空気砲は段ボールの底に丸い穴を一カ所作り、両側を叩くことにより勢いよく空気が出て、紙コップの山を崩して遊ぶ物でした。目には見えない空気砲に子供達は大興奮。何度も繰り返し遊んでいました。一方、ゴム風船のサッカーボール作りは、紙を六角形に切り取り一枚ずつ張り合わせて型を作り、その中に風船を膨らませて完成させるといって、なかなか難しい物でした。しかし最初は苦戦して作っていた子供達もおうちの方や、青少年健全育成会のスタッフに手伝ってもらい、みんな上手に作る事が出来ました。親子のふれあいで、子供達のクリエイティブに改め驚かされた体験教室でした。



**毛賀 餅つき大会**  
 毛賀では、おやす作りの後に餅つき大会を行います。役員は早い時期から準備を始めます。餅つき機・杵・臼の手配、おやす作り・餅つき大会を手伝ってくれる地元の方達への慰労会設定など。  
 当日は朝早くから餅つき機でどんどん餅をつき、すぐ食べられる様にあんころ餅やきな粉餅を作ります。児童は地元の方と餅つきをしたのですが、思うようにつけないで皆でワイワイガヤガヤと大騒ぎ。  
 つき終わると皆ほっぺをまん丸くして餅をほおばり、大人はお酒で機嫌です。  
 (支部長 塩澤 満)

作りは今回で三年目ですが、新井PTAでは、「これからも、このよな交流を続けていきたい」というお話でした。

**代田 天神様・新年会**  
 1月18日(日)に天神様・新年会が行なわれました。朝8時30分に城址公園に集合し、菅原道真公の木彫の座像(300年前に北野天満宮よりお迎えし、下の宮に祀られている全国で千体のうちの一体です。)を抱えた6年生を先頭に天神様の歌と太鼓を叩いて区内を回りました。  
 代田公民館にお昼前に到着し、そこから来入児も加わり、全員で前日から役員の方や当番のお母さん方が準備してくださった五目ご飯をおいしくいただきました。  
 お昼を食べた後は新年会で、皆でゲームをして遊び、お土産をもらって解散となりました。



**健やかな育ちを願って**  
 松尾地区青少年健全育成会会長 熊谷英彦  
 四月十二日 少年野球教室 鈴木君によって堂々と決意

六月七日には、中溝川で「松尾の川の水中生物をつかまよう」を実施。太陽の下、川に入ってドジョウ等の生きものを自分でつかまえるといったことは、現今なかなか得がたい体験だと思います。階段を仮設してくださった鈴木さんのご好意や北城先生はじめ地元の方々のご協力で、心より感謝申し上げます。  
 高齢者双葉会の皆さんのご指導の「マレットを楽しもう」や「ペタンクで遊ぼう」も、教えていただきながら交流を深めることができましたし、文化祭では、三浦さんにご指導いただき

また、松ぼっくりの池の管理にも心を配りました。あいさつ標語の看板移動や小学生全員からあいさつ標語を募集し、あいさつの啓発にも取り組みました。広報活動も、具体的な子どもたちの元気な姿をより多く紹介するよう努めて参りました。子どもたちの健やかな育ちを願う二十年度育成会活動へのご支援、どうもありがとうございました。



去る二月七日の土曜日、松尾地区文化祭行事の一つで、子供達を対象にした「おもしろ科学教室」が公民館横のミニ体育館で行われました。内容は、おもしろ科学工房の三浦さんの指導のもと、「ゴム風船のサッカーボール作り」と「空気砲」です。空気砲は段ボールの底に丸い穴を一カ所作り、両側を叩くことにより勢いよく空気が出て、紙コップの山を崩して遊ぶ物でした。目には見えない空気砲に子供達は大興奮。何度も繰り返し遊んでいました。一方、ゴム風船のサッカーボール作りは、紙を六角形に切り取り一枚ずつ張り合わせて型を作り、その中に風船を膨らませて完成させるといって、なかなか難しい物でした。しかし最初は苦戦して作っていた子供達もおうちの方や、青少年健全育成会のスタッフに手伝ってもらい、みんな上手に作る事が出来ました。親子のふれあいで、子供達のクリエイティブに改め驚かされた体験教室でした。

**おもしろ科学教室**  
 吉澤 俊哉  
 ぼくは、ふうせんでサッカーボールを作りました。五角形を二十まい作って、テープでまずは、ボールの半分を作りました。次に、同じ物をもう一つ作りました。そして、それを合わせてかんせいしました。さいごに、すきな色のふうせんをえらんで、ボールの中に入れて、ふくらませました。  
 ふうせんをふくらませるのは、むずかしかったです。そのボールで、遊びました。楽しかったです。

